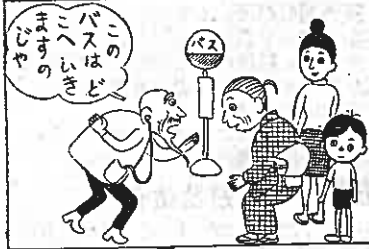


# 泰平一家

木 比 呂 志  
れん さい 森



部落ぐるみの社会学校として過去十年余の間に明るい町づくりに奮闘して来られた上は、五貫島区の「むすび会」が、このほど晴れて県下でも団体表彰として、最高の名誉であるといわれ、県教育委員会表彰を授けられた。



## 部落ぐるみの成人教育 むすび会 (上五貫島区)

晴れの県教育委員会表彰

部落担当の高橋八重子先生と話し合い「子供会」を作り子供の指導にあたった。その結果子供はだんだんと良くなってきまし。とくに子供との話し合いの中で子供の教育は家庭の中で影響の大きいのおどろき両親の日常生活をより良くする事に気付

昭和三十一年三月市川校長先生 高橋先生共に担任することになり懇談会も一時中断しておりましたところが区民の一部から懇談会を再開するようとの声が出て昭和三十四年末に再び会

これからは長く続けなければ駄目である。皆さんも毎月開いてほしい、私も出席させてもらうことが長じいさするか根拠くらべをしよう」と申されましたこの言葉にはびやまされて区民の目

学習は活潑 学習のテーマについては、希望テーマを出しあいその中から一年間の計画を立案して実施するほか関係者機関から講師、助言者の派遣を依頼して話し合う、(六六討論)をもつて活潑な意見の交換を行っています。また参加者は、区民全員を対象として性別年齢を問わず毎回参加人員は四〇名から八〇名を越

その結果は、 ①親として教育のむすかしを良く知りまた何とが我が子だけにすぐの子供も一緒にいこうと気持が苦しみもがいている中で前途に光明を見出し家庭教育(家庭の壁)に自信を取りもどすことあります。

この部署は 昭和十五年 頃まで青少年の犯罪は急激の増加を見て区内に盗難はおこり、公民館は荒れはてて手のほたしてしまつてしまつた状態であつたのです。

この会の運営は、区長を長に区の役員、PTA、婦人会、青年団役員、子供会世話人、部落会役員を幹事とし年間予算は僅かに一万円足らずでまかない、すべての経費は講師、助言者の謝礼、八ミリ記録映画制作費に当てていました。

成果あがる 明るい家庭を作り青少年の健全育成など成人検眼を目標に開設以来一貫して実施しているが、

講演の内容 講座は毎月二十五日定例日と、き夜六時から十時までの約四時間をみづちの学習に助けていきます。主な学習科目をあげてみます。①市政について②子育ての壁について③嫁と姑の問題④交通道徳について⑤夏休みの子どもの生活の家庭内における話し合いの進め方⑥火災予防について⑦時間を効率的にはどう使うか⑧社会の進歩に対して部落はどう適応していへんかというかなどであります。

合をもち、当時教育委員長長の吉田甫先生の話を聞いたこの時吉田先生は、「教育の仕事は一朝一夕に出来るものではない、皆さんがこつこつと勉強するもの一度で効果があがるものではない。

標に「明るい部落作り」として区民全員で成人教育の場を作り、その名称も区民全員で手をつない、明るい部落作りを努力するといふことので「むすび会」と名付けて発足しました。

える盛況でありました。

## 町をみんなの力で 美しくしましょう

- ★ゴミを道路や川などに捨てるのはやめましょう。
- ★公園や広場など公共施設を大切にしよう。
- ★見苦しいハリ紙はやめましょう。

## 6月7日は 計量記念日

市民のみなさんと共に歩んできました計量記念日も今年で十三周年を迎えることになりました。ところで今日、消費革命或は消費文明と呼ばれる新しい経済現象が生んだ歪みとして品質表示の不徹底、量目の不足など自然消費者の最大の関心事となつてきます。中でも量目の正確計量については計量法によつて使用計量器の検査を毎年行つております。そこで家庭においてメートル法を使いさえすればよいというのではなくメートル法によつて正しい計量をして日常の計量観念を育てて文化や産業の発展に役立て完全なメートル法、きりのよい数量、正しい計量ができるよう特に力を合わせよう。

貯蓄標語 「しあわせは、くらしのちえから貯蓄から」